

# うどのにしいせき 鵜殿西遺跡（第10次調査）

## 調査期間

令和5年5月中旬  
～令和5年7月上旬（予定）

## 調査面積

485 m<sup>2</sup>

## 所在地

三重県南牟婁郡紀宝町鵜殿 地内



調査区位置図（国土地理院 1/25,000 地形図『新宮』より）

## 令和5年度の発掘調査がはじまります！！

鵜殿西遺跡の発掘調査は、一般国道42号新宮紀宝道路建設事業に伴い、平成30年度から行っています。過去の調査では、鎌倉時代～室町時代の土地を区画するための大規模な溝をはじめ、建物や井戸など屋敷地に伴う施設の痕跡を確認しました。これらの遺構は、鎌倉時代の文献に記載される「新宮津」や、室町時代の有力者だった「鵜殿氏」との関係性が考えられます。

今回の調査では、これまでに確認している幅5mほどある大規模な溝と掘立柱建物がどのような関係で配置されていたのかなどが明らかとなる見込みで、屋敷地の構造の解明に一步近づけそうです。調査成果については、随時ホームページなどでお知らせします！



令和4年度調査で確認した大規模な溝の土層断面（部分）



令和4年度調査で溝から出土した伊勢産の土師器の出土状況

### 【問い合わせ先】

三重県埋蔵文化財センター 調査研究2課（担当：渡辺・鐸木）

〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503

電話：0596-52-7029 FAX：0596-52-7035